

# 平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	73	事業名	起債事業		事業の性質別	裁量的経費	区分		
予算事項名	大事項	道路整備事業費			中事項	起債事業			
事業開始年度	昭和	年度	根拠法令等	あり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律・政令・省令名(道路法) <input type="checkbox"/> 道条例,規則,要綱等( <input type="checkbox"/> 市条例,規則,要綱等( 				
								部課名	土木部道路建設課
								電話番号	21-3422

## 1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p><b>【目的】</b> 市民にとって最も身近な公共施設である生活道路を中心とした市道の新規舗装整備, 老朽化した道路の再整備, 橋梁の新設や改修工事を行うことによる生活環境の改善を図ることを目的としている。</p> <p><b>【必要性】</b> 通勤・通学, 買い物等の日常生活を支える基本的な生活基盤である道路や橋梁などは, 未舗装であったり, 舗装されていても年数が経過し舗装や縁石といった道路施設が老朽化してしまっていることにより, 早急な整備を必要としている。</p>
内容	市道認定されている未舗装道路の新設舗装, 老朽化した道路の2次改築やオーバーレイ, 歩道の設置可能な幅員のある路線において, 安全で円滑な交通を確保するための歩道設置等。

## 2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		1,371,096	1,248,885	1,298,478	1,243,408	1,300,000	0
特定財源	国・道						
	市債	1,201,700	104,400	731,900	509,200	1,207,700	
	その他				1,522		
一般財源		169,396	1,144,485	566,578	732,686	92,300	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため, 実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 4.90 36,789	人工 4.90 35,368	人工 4.80 34,992	人工 4.80 34,992	人工 4.80 36,058	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費 (B)	36,789	35,368	34,992	34,992	36,058	0
総事業費計 (A+B)		1,407,885	1,284,253	1,333,470	1,278,400	1,336,058	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業実施	事業	88	89	80	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はない。
------	--------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	未舗装路線が舗装化された、老朽化した路線が再舗装されたことにより通行しやすくなった(車両・自転車・歩行者など)などの成果が得られている。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目		評価内容	評価内容の説明	評価項目		評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	人や車両が利用する道路を対象としており、十分な必要性はあるものと考えている。	コスト・負担	コストの節減度	節減できている	積算システムや製図ソフト(CAD)の導入やデータの電子化等により、業務を効率化・省略化し、人工削減に努めている。
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当			将来コスト増減見込み	現在より低減する可能性	
			受益者負担の適正度	適正			
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	事業実施により、道路の利便性が向上していることで、成果を達成できたと判断している。	執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	測量・設計等業務については既に委託業務を実施しており、今後は事業規模に応じて施工管理業務の外部委託等について検討していく。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適			実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)	
評価結果から明らかになった課題事項など							

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) コストの低減に引き続き努める。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	事業内容や必要性が、地域の状況により異なることから、類似事業としての比較はできない。
----------------------------	--